

[共同研究]

マクロ経済学の現状と課題

共同研究者

代表 金谷 貞男 (日本大学経済学部教授)
吉田 博之 (日本大学経済学部教授)
中島 善太 (日本大学経済学部教授)
植木 恒幸 (日本大学経済学部教授)
豊 福建 太 (日本大学経済学部准教授)
吉田 真理子 (武蔵大学経済学部教授)
大内 雅浩 (日本大学経済学部助教)
黒沢 義孝 (日本大学経済学部教授)

はしがき

本論文集は、2010年4月より二年間にわたって実施された日本大学経済学部経済科学研究所所管の長期研究プロジェクト「マクロ経済学の現状と課題」の研究報告論文集である。この研究にあたって、経済科学研究所からはさまざまなご援助とご助力を賜った。

あつくお礼を申し上げたい。

本論文集のそもそもの問題意識は以下のようなものであった。マクロ経済学の現状を見るに、その研究範囲は現代では極度に広がってしまっていて、私たちマクロ経済学の研究者自体がその全貌をつかむのに困難を覚えるほどである。そこで、私たち本論文集の執筆者はマクロ経済学の中でも、それぞれの専門とする研究領域での展望論文・研究論文をこの論文集に発表することによって、少しでも互いの研究領域間で理解の程度についてのギャップを埋めることができるのではないかと考えた。こうした考えによって、始まった長期プロジェクトであったが、いま、私たちの過去二年間の研究成果が出揃って論文集となり、この目的に向かっていささかでも近づけたとしたら、まことに喜ばしい。

掲載論文は、以下である。

中島善太 日本大学経済学部教授 「DSGEモデル分析：その一般的展望とマネタリー分析への応用について」
黒沢義孝 日本大学経済学部教授 「ソブリン格付けの決定要因におけるマクロ経済指標」
金谷貞男 日本大学経済学部教授 「簡略化王朝モデルと生涯時間制約」
吉田博之 日本大学経済学部教授 「経済グローバル化の経済的帰結：非線型マクロ経済動学の視点から」
豊福建太 日本大学経済学部准教授 「Large traderの健全性が通貨投機に与える影響」
大内雅浩 日本大学経済学部助教 「粘着的な長期利子率のある景気循環モデルと金融政策－ケインズ

の正常逆鞘からの検討ー」

吉田真理子 武蔵大学経済学部教授「人的資本蓄積を含む世代重複経済における財政政策の成長効果」
(金谷貞男)